2016年12月14日
株式会社みずほ銀行

ロシア ズベルバンクとの業務協力協定における 変更契約の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）およびモスクワみずほ銀行は、ロシア最大の商業銀行であるズベルバンク（Sberbank of Russia、CEO and Chairman of the Executive Board：Herman Gref）と、業務協力協定の変更契約を12月13日付で締結しました。

ズベルバンクは、ロシア中央銀行を主要株主とし、1841年に設立されたロシアでもっとも長い歴史を誇る銀行です。国内最大級のネットワーク（約17,000店舗）を有しており、ロシアの銀行部門の総資産の約3割を占めています。

〈みずほ〉は、ズベルバンクと2011年9月に投資銀行業務および幅広い商業銀行業務における業務協力協定を締結し、これまで、ルーブル建て送金・為替、現地でのファイナンスやトレードファイナンス等の分野においてお客さまのサポートやソリューションの提供に取り組んできました。

昨今、金融とITの融合を意味する「FinTech」が大きな注目を受けていることから、今回、新たに金融先端技術分野における業務協力を盛り込み、協力関係をより深めていきます。具体的には、金融先端技術における情報交換・技術支援を行うとともに、金融先端技術の手法を活用することにより、相互にお客さま向けサービス向上を目指す協働を行っていきます。

ロシアは、世界有数の資源国であるとともに、人口1億4千万人を有し、日本の隣国として、成長性のある有望な市場を有しています。また、昨今、両国間の経済協力の気運が高まっており、今後、日系企業の貿易や投資活動の活発化が期待されています。

〈みずほ〉は、2008年1月のモスクワみずほ銀行の開業以来、ロシアでのビジネス展開を強化しています。本協定の締結を通じて、お客さまの事業拡大ニーズをきめ細かくサポートするとともに、ロシアの経済発展にも貢献していきます。

以上